



農政課題解決研修情報

農政課題解決研修(革新的農業技術習得支援研修)事務局 (連携普及部 連携普及企画室(担当:大島))
電話 029-838-7599

＜平成25年度農政課題解決研修(革新的農業技術習得支援研修)の概要＞

農研機構では、農林水産省生産局の補助事業として、普及指導員等を対象とする農政課題解決研修(革新的農業技術習得支援研修)を平成25年度に17課題で実施しています。実施した研修の報告等について、随時、本「農政課題解決研修情報」により情報発信をしていく予定です。

25年度の研修課題は、当機構のホームページ

(<http://www.naro.affrc.go.jp/training/reformation/2013/index.html>)に掲載しておりますのでご参照下さい。また、24年度までに実施した研修課題及びそのテキストも掲載しておりますので、ご参考にしていただければ幸いです。

＜研修実施状況＞

○水稻の直播技術

東北農業研究センター大仙研究拠点(秋田県大仙市)で9月2日から9月3日にかけて、標記に係る研修を実施しました。受講生は、10県から10名の参加がありました。

本研修では、水稻生産における省力・低コスト化を図る最新の直播栽培技術を習得するために、鉄コーティング湛水直播とプラウ耕鎮圧乾田直播を取り上げ、それぞれの直播栽培における栽培体系や雑草対策、生育の特徴、肥培管理、漏水対策について講義を行いました。講義の中では、講師の実体験に基づく解説と、受講生の担当地域における技術導入に向けた問題点や課題について、講師との間で活発な質疑応答が交わされました。

また、鉄コーティング湛水直播圃場、大区画水田におけるプラウ耕鎮圧乾田直播圃場の現地視察を行いました。生産者から直播栽培を導入した経緯、それぞれの農業経営に関する考え方についての説明を受け、圃場管理等に関する質疑を行うとともに、圃場耕盤の堅さ、雑草防除や生育の状況を実体験しました。

2日間の研修でしたが研修実施後のアンケート結果では、受講生から、「直播栽培の技術体系を様々な角度から勉強できて良かった。」、「現地生産者の話も含め、メリットや課題がわかりやすく示されていて勉強になった。」などの好意的な感想が多数寄せられ、研修全体を通して良好な評価をいただきました。

本研修を受講いただいた普及指導員の方々の今後のご活躍により、「水稻の直播栽培」がより広く普及定着することを期待いたします。

(担当:東北農業研究センター業務推進室 鈴木)



鉄コーティング直播圃場の見学



乾田直播圃場の見学

本情報は、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構が、農林水産省(生産局技術普及課)の補助により、普及職員等を対象に実施している「農政課題解決研修(革新的農業技術習得支援研修)」(注)に関する情報を取りまとめたもので、実施機関や普及関係者間の情報交換等に役立てようとするものです。研修実施等に合わせ、随時発行しています。

(バックナンバーは機構ホームページ (<http://www.naro.affrc.go.jp/training/reformation/index.html>) にも掲載しています。)

注)農政課題解決研修(革新的農業技術習得支援研修)は、①革新的な新技術の習得、②最先端の分析等技術の習得、③民間等の先導的な技術の習得を目的として行う研修で、平成20年度から実施されています。(研修に関する問合せは、農林水産省生産局技術普及課にお願いします。TEL 03-3593-6497)